

## 平成28年度第2回印西市地域公共交通会議 会議録

開催日時	平成29年1月20日（金） 午後2時から
開催場所	印西市役所別館 農業委員会会議室
出席者	伊藤 隆会長、上條公司副会長、戸村静夫委員、大森良夫委員、 吉野康夫委員、飯塚辰雄委員、篠塚義洋委員（代理 福田様）、 川名秀雄委員、石井 隆委員、浦川真一委員、三上達也委員、 佐藤信之委員、田村広文委員、鈴木俊明委員
欠席者	市村結花委員、前田一博委員、菅野八重子委員、中村光秀委員、 岡崎晃士委員、坂本公紀委員
事務局傍聴者	交通政策課 高石課長、根本主査、成田主査補、鶴見主事 1名

### 1 次第

#### 1. 開 会

#### 2. 協議事項

- (1) 北総交通株式会社が運行する小林駅～印西牧の原駅線及び滝野循環線の運行の見直し並びに事業の引き継ぎについて
- (2) ふれあいバス印旛支所ルートにおける地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について
- (3) ふれあいバス印旛支所ルートの利用状況と今後の方針について
- (4) ふれあいバスの運行の見直しについて

#### 3. 閉 会

## 1 開会

(事務局) ただいまより、印西市地域公共交通会議を開会いたします。

## 2 協議事項

(事務局) はじめに、本日の出席委員は14名で、印西市地域公共交通会議設置要綱第7条第3項により成立いたしますことをご報告いたします。  
また、本日の会議につきましては、印西市地域公共交通会議設置要綱第7条第6項の規定に基づき、公開とさせていただきます。なお、本日の会議においては、傍聴の申し出がありますので、傍聴者の入室を許可させていただきたいと思っております。よろしいでしょうか。

**【 異議なしの声あり 】**

**【 傍聴者入室 】**

(事務局) それでは、協議事項に入らせていただきますが、議事進行につきましては、伊藤会長にお願いいたします。

(会長) はい。

(会長) それでは、議長を務めさせていただきます。議事に入る前に議事録確認者を指名させていただきます。本日の会議の議事録確認者については、上條委員を指名させていただきますので、よろしくお願いいたします。

### (1) 北総交通株式会社が運行する小林駅～印西牧の原駅線及び滝野循環線の運行の見直し並びに事業の引き継ぎについて

(会長) それでは、「2. 協議事項」に入らせていただきます。はじめに「(1) 北総交通株式会社が運行する小林駅～印西牧の原駅線及び滝野循環線の運行の見直し並びに事業の引き継ぎについて」事務局から説明をお願いします。

(事務局) 協議事項(1)につきましては、資料の1～2ページのとおり、北総交通株式会社及びちばレインボーバス株式会社から当会議における協議の依頼がございました。したがって、本事項につきましては、各事業者より説明させていただきます。

**【資料3～14ページ 北総交通株式会社説明】**

**【資料15ページ ちばレインボーバス株式会社説明】**

(会 長) ただいま、北総交通株式会社及びちばレインボーバス株式会社から説明がありましたが、ご質問等はございますか。

(委 員) 北総交通は、バスとタクシー事業から撤退されて、残る事業というのはどのような事業になるのでしょうか。

(事業者) 私どもはタクシー事業とバス事業の2本立てということでございまして、両方とも撤退という事になります。撤退後に会社をどうするかについては、現在検討中でございます。

(委 員) もう一点、民間助成が平成28年度末で打ち切りということですが、こちらは以前から決まっていたことなのでしょうか。

(事業者) 実はこの民間事業者は、小林地区の開発の中で、小林駅に向かう足が当時なかったということで、京成グループがその輸送を引き受けた際に、利用促進というのを含めて毎年一定の額を、協議の上で助成していただいたというような経緯があるのですが、開発がスタートしてから時期が経ちまして、もうそろそろ助成をする時期も終わったのではないかとということで、ここ数年、金額の見直しについて、その民間事業者と私どもの方で協議を続けていたところでありましたが、最終的に、今年度を持って打ち切りとさせていただきたいという申し出がございまして、今回のような状況に至ったということでございます。

(会 長) 他にご質問等はございますか。

(会 長) 特にないようですので、「協議事項(1)北総交通株式会社が運行する小林駅～印西牧の原駅線及び滝野循環線の運行の見直し並びに事業の引き継ぎについて」ご異議ございませんか。

#### 【異議なしの声あり】

(会 長) 異議なしと認めます。それでは、「協議事項(1)北総交通株式会社が運行する小林駅～印西牧の原駅線及び滝野循環線の運行の見直し並びに事業の引き継ぎについて」は協議が調いました。

## (2) ふれあいバス印旛支所ルートにおける地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について

(会 長) つづきまして、「協議事項(2) ふれあいバス印旛支所ルートにおける地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について」事務局から説明をお願いします。

### 【資料16～18ページ 事務局説明】

(会 長) ただいま、事務局から説明がありましたが、ご質問等はございますか。

(会 長) 特にないようですので、「協議事項(2) ふれあいバス印旛支所ルートにおける地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について」ご異議ございませんか。

### 【異議なしの声あり】

(会 長) 異議なしと認めます。それでは、「協議事項(2) ふれあいバス印旛支所ルートにおける地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について」は、協議が調いました。

## (3) ふれあいバス印旛支所ルートの利用状況と今後の方針について

(会 長) つづきまして、「協議事項(3) ふれあいバス印旛支所ルートの利用状況と今後の方針について」事務局から説明をお願いします。

### 【資料19～20ページ 事務局説明】

(会 長) ただいま、事務局から説明がありましたが、ご質問等はございますか。

(委 員) 平成28年12月の1日当たりの利用者数がこれまでより7人ほど増えていますが、考えられる理由というのはあるのでしょうか。

(事務局) 印旛支所ルートの印西牧の原駅周辺地域においてジョイフル本田などのかなり大きなホームセンターがございまして、12月においては、年末の買い物が多かったのかなという様に考えております。

(委 員) 例年も12月は利用者が多いのですか。

(事務局) 例年も多くございます。

昨年度の実績を見ましても、3月の利用が一番多かったのですが、その次に多かったのが12月ということで、やはりそういった買い物が考えられるのかなと思います。

(会長) 他にご質問等はございますか。

(委員) 先程の経営状況にも係ることですけれども、印旛支所ルートは平成28年から6便から8便になった、2便増えたということですか。

(事務局) 平成27年10月から増便しています。

(委員) その便数割で計算した時に乗車数は変わっているのでしょうか。

(事務局) 印旛支所ルートの便数ごとの利用状況ということでございますが、1番利用が多いのは3便でございます。3便と言いますと、印旛支所発が9:47、この時間が一番多い便でございます。その次に多いのは5便で、5便は印西牧の原駅南口を13:20に出発する便でございます。大体平均的に各便の利用がされている状況でございますが、1便については時間が早いということで、利用が少ないという状況でございます。

(委員) 私が言ったのは、便数を増やすと当然経営負担が増えるわけじゃないですか。会社にすれば、今回会社が撤退すると思うのですが、便数を増やすと、例えば2便増やすと1便あたり平均どうなるのか。6便の時と8便の時の乗車数というのは、どういふ変化があるのか、ということです。

計算してもらっている間にもう一つ。全く同じような格好で、今回ちばレインボーバス側で引き受けたら大変だと思います。北総交通がやっていて、ここを削れば何とかやれるんじゃないかということでの意向だと思いますが、それでできるのかなという心配をしています。ぎりぎりできますと言ってくればそれに越したことはないのですが。

(事務局) ただいまのご質問でございますが、現在協議いただいている印旛支所ルートというのは、ふれあいバスの方で、市からちばレインボーバスへ委託をして運行している路線でございます。先程の協議事項1の、小林駅～印西牧の原駅線というのは、民間の路線バスということでございまして、事業形態が異なるということを申し上げさせていただきます。

(委 員) また移管してできなくなったら大変だと思ひまして。了解です。

(事務局) 先程のご質問ですが、6便だった頃の平成27年9月の1日1便当たりの平均利用者数は、6.98人でした。8便に増便した後の今年度の同月で申し上げますと、6.48人ということで、1便あたりはあまり変わらないという状況でございます。

(委 員) 私があえて質問したのは、長年やってきてくれた会社が撤退や、場合によっては会社を清算ということですが、発展的解消なら良いけれども、そうではなくて、会社がしぼんでいくような撤退というのは残念です。せつかくニュータウンの中でやってもそうなるんだということであれば、これからの交通政策、いろいろなことを考える必要があるのかなというような事を言いたかったわけです。

(委 員) 先程のご質問は協議事項1かと。今協議事項3に入っているので、少し内容が異なると思ひます。

(会 長) 他にご質問等はございますか。

(委 員) 高齢者クラブですと、ふれあいバスを利用しているという方から、「大変、地域の住民の利便性を考えながら、運行していただけてありがたい」という声を何件か聞きます。それと日医大に通院している方からは、牧の原から乗り換えて千葉ニュータウン中央と、千葉ニュータウン中央地域の方から言わせると、乗り継げばふれあいバスだけで、時間を待っていれば行けるというような話を聞いております。出来ればもう少し、回数を増やしてもらえればとおっしゃる方もいます。ふれあいバスだと、料金が安くて、いろいろ用が足せ、大変便利だという声を聞いております。平成29年度は本格的に運行されるということで、今後の方針として、強くお願いしたいなと思っております。出来るだけ、住民の方の喜ばれる運行をお願いしたいと思っているものですから、よろしくどうぞお願いいたします。

(会 長) 要望ということでよろしいですか。事務局から何か答弁はありますか。

(事務局) ふれあいバスにつきましては、利用者が利用しやすいように、随時見直し等を行っているところでございます。今後についても、利用者のご意見等を参考にしながら見直しを行っていきたいと考えております。

(会 長) 他にご質問等はございますか。

(会 長) 特にないようですので、「協議事項（３）ふれあいバス印旛支所ルートの利用状況と今後の方針について」ご異議ございませんか。

**【異議なしの声あり】**

(会 長) 異議なしと認めます。それでは、「協議事項（３）ふれあいバス印旛支所ルートの利用状況と今後の方針について」は、協議が調いました。

**（４）ふれあいバス運行の見直しについて**

(会 長) つづきまして、「協議事項（４）ふれあいバス運行の見直しについて」事務局から説明をお願いします。

**【資料21～39ページ 事務局説明】**

(会 長) ただいま、事務局から説明がありましたが、ご質問等はございますか。

(会 長) 特にないようですので、「協議事項（４）ふれあいバス運行の見直しについて」ご異議ございませんか。

**【異議なしの声あり】**

(会 長) 異議なしと認めます。それでは、「協議事項（４）ふれあいバス運行の見直しについて」は、協議が調いました。

以上をもちまして、本日の協議事項はすべて終了いたしました。会議進行にご協力をいただき、ありがとうございました。それでは、進行を事務局にお返しします。

(事務局) 議長、お疲れ様でございました。他に皆様から何かご質問等ございますでしょうか。

(事務局) 特にないようですので、以上をもちまして、平成 28 年度第 2 回印西市地域公共交通会議を終了いたします。おつかれさまでした。

平成28年度第2回印西市地域公共交通会議の会議録は、事実と相違ないことを承認する。

平成29年 2月 2日

委員 上條公司